

～郷土史つづり～

文責
郷土史マスター
川内つづり



その④「機織り機復活プロジェクト」

早来の郷土資料館には、旧郷土資料館時代に町民から寄贈された機織り機が展示されています。昭和10年に試作されたもので、当時政府が国内での羊の飼育に力を入れており、北海道でも各農家で羊の飼育が奨励されました。育てた羊から糸を紡いで、布を織り、服を仕立てることを「ホームスパン」と呼びます。町内の農家でも羊毛加工場から委託されるなど盛んに行われていました。昭和25年には1000頭近くいた羊も、その後自由に衣料の購買が出来るようになって徐々に減少し、昭和45年にはわずか10頭になりました。羊の姿も、機織りの織る音も消えてしまったのです。そこで、土の会では3年前から、資料館に眠っていた機織り機を復活させようと活動を始めました。協力頂ける人を探していたところ、勇武津資料館のボランティア団体「ゆのみ」と出会い、技術的な面のサポートや交換が必要な部品の手配など、たくさん助けて頂きました。そして遂に、6月5日、29年ぶりに息を吹き返したのです。そこで、6月26日(月)10～16時の時間帯で一般公開します。(早来郷土資料館内 12～13時は休み)

見事に復活を果たした機織り機の今後の活躍をご期待下さいね。

平成29年度第3回教育委員会議決事項等報告(5月25日開催)

- ①平成29年度教育予算(補正)について
 - ②平成29年度安平町育英基金奨学生採用について
 - ③安平町公私連携幼保連携型認定こども園運営協議会協議委員の任命(補充)について
 - ④安平町子ども・子育て会議委員の委嘱(補充)について
 - ⑤安平町子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- ※第4回教育委員会(6月27日開催予定)については次号でお知らせします。また、教育委員会ほどなたでも傍聴できます。詳しくは教育委員会事務局まで(☎25-2083)

公民館図書室 新刊のご案内

新しい本がたくさん入りました！早来・追分どちらの公民館の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしています。

【早来公民館】

- 〈一般書〉ラクチンおいしい！こだわり麺(堤 人美) / どんな時でも人は笑顔になれる(渡辺 和子) / 弘兼流60歳からの手づら人生(弘兼 憲史) / 我がパラダイス(林 真理子) / 風のかたみ(葉室 麟)
- 〈児童書〉子どもに伝えたい和の技術3 花火(和の技術を知る会) / 僕は上手にしゃべれない(椎野 直弥) / どこまでも生きぬいて夜回り先生50のヒント(水谷 修) / おならおばけ(かとう まるみ) / メガネをかけたら(くすのき しげのり)

【追分公民館】

- 〈一般書〉ビッグデータという独裁者「便利」とひきかえに「自由」を奪う(マルク・デュガン) / その島のひとたちは、ひとの話をきかない 精神科医、「自殺希少地域」を行く(森川 すいめい) / がんて余命ゼロと言われた私の死なない食事(神尾 哲男) / 凜(蛭田 亜紗子) / サンライズ・サンセット(山本 一か)
- 〈児童書〉読めばわかる！世界地理(竹林 和彦) / もしも病院に犬がいたら ども病院ではたらく犬、ベイリー(岩貞 るみ子) / 星に叫ぶ岩ナルガン(パトリシア・ライトソン) / おうさま(ディック・ブルーナ) / わたしたち手で話します(フランツ=ヨーゼフ・ファイニク)

今月の展示テーマ

はんげしよ
『半夏生』

夏至(6月21日)から数えて11日目が半夏生。日本の七十二候二十四節気の一つで、今年は7月2日です。半夏とは、「カラスノビショク」という草のこと。北海道でも野山に自生しているそうです。ハングが生ずるころに田植えを終わらせる、という農事の節目とされています。関西では、この日にタコを食べるならわしがあるそうです。香川県では、うどんを食べるのだとか。夏本番の暑さに備えて、体を整えよう、という時期でしょうか。

今月は、夏の準備に役立つような本を展示します。どうぞご利用ください。



図書室開室日 火～日曜日 9時～17時

※他にもたくさん本を揃えています。ぜひご利用ください。

